

いあいわい

周防大島町長職務執行者 西木 宏



平成十六年十月一日、大島郡久賀町、大島町、東和町および橋町の合併が果たされ、人口約二万二千四百人の、町としては県内最大級の人口規模を誇る「周防大島町」が誕生いたしました。

合併の実現に向けてご尽力いただきました関係各位に対し、深く感謝いたしますとともに、温かいご理解を賜りました郡民各位に心からお礼申し上げます。

また、先月襲来した台風十八号によって被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。今後も引き続き復旧作業や被災者への対応につきまして、万全を期して参りたいと思っております。

さて、今回の合併は、地方分権という大きな潮流の中で、過疎化、少子・高齢化等の共通する行政課題に対応し、誰もが住みよい「ふるさと大島」を築き上げていくために「島を想う心はひとつ」の意思のもと、四町が共に手を携えて実現させたものであります。

合併に至る過程は「大島郡広域行政研究会」を設置し、広域連携による行政のあり方の検討に着手した平成十三年一月にさかのぼります。その後「大島

郡広域合併研究会」への改組等を経て、平成十四年十月に「大島郡合併協議会」を設置し、郡内代表委員による真摯な協議が重ねられました。郡民自らが合併協議を成し遂げた経験は、産声をあげたばかりの「周防大島町」を創り育てていく上で、大きな財産になるものと確信しております。

新町では、旧四町の庁舎に本庁機能を分散する、いわゆる「分庁方式」を採用するとともに、郡民の皆様の利便性を考慮し、日常的な業務に対応する「総合支所」を各庁舎に設置しました。

こうした新しい行政組織のもと「元氣、にこにこ、安心で二十一世紀にはばたく先進の島」づくりを目指して、四季折々の豊かな自然と、高齢者が住みよい環境を継承すると同時に、明日を担う子どもたちと夢と希望を与えられるまちづくりを、郡民の皆様とともに進めていくことが、我々に課せられた使命であると強く認識し、決意を新たにしているところであります。

「周防大島町」の飛躍、発展のために、皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

